



2月28日（火）LCA国際小学校北の丘センターで、みどりの講習会「多肉植物の寄せ植えリースづくり」を開催しました。

多肉植物は、水分を葉や茎、根に蓄え、乾燥に強い植物です。種類が豊富なことや、頻繁な水やりが必要なく、比較的容易に栽培できるため、近年人気が始まっています。園芸店やホームセンターなどで手に入れることができ、寄せ植えでも楽しめます。



【講習会の様子】

チキンネット（金網）で作るリース型の
寄せ植えをご紹介します。

- ① 広げたチキンネットに水ゴケと土を敷く。
 - ② リースの形に作る。
 - ③ 根鉢をほぐした多肉植物を土に植える。
 - ④ 水ゴケで隙間を埋める。
- 1週間は平らに置き、水やりも1週間後、葉にかかるないように行う。

多肉植物は、種類により、挿し芽・株分け・葉挿しができ、取れてしまつた葉を土の上に置いておくと、新芽を出し、子株ができます。また、日当たり・風通し・水はけが良いことを好み、水やりは、土が乾いてからたっぷり与えます。メリハリのある水やりが大切です。



【寄せ植えリース】

発行：公益財団法人相模原市まち・みどり公社

みどり推進課 TEL 042-751-6624 (直通) FAX 042-751-2345

<http://www.sagamiharashi-machimidori.or.jp/>

相模原市中央区富士見6丁目6番23号（けやき会館内）

